

県と市町村の連携・協働による「奈良モデル」を推進します。

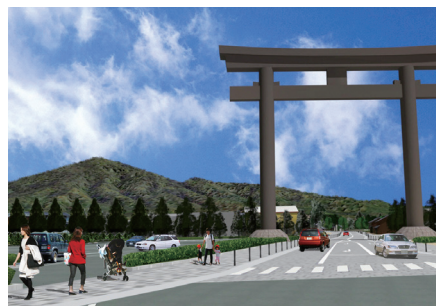
市町村との連携まちづくりを進めます。

各市町村との包括連携協定に基づき、地域資源を活用した魅力あるまちづくりを進めます。

平成30年度の主な取組

- 市町村とのまちづくり連携推進事業
 - ・包括協定・基本協定段階（構想・計画の検討）
 - ・個別協定段階（ハード事業）：
 - 五條市新庁舎アクセス道路整備（五條市五條中心市街地地区）、医大新キャンパスアクセス道路整備（橿原市医大周辺地区）
 - ・個別協定段階（ソフト事業）：
 - 歩行空間環境整備事業（桜井市長谷寺門前町周辺地区）
- まちづくり連携協定関連道路整備事業（県実施）
 - ・高田矢田線（大和郡山市）、天理環状線（九条バイパス）（天理市）、国道25号（天理市）、三輪山線（桜井市）、多武峯見瀬線（明日香村）、明日香清水谷線（高取町）

関連予算 H30:431百万円(H29:484百万円)



三輪山線整備イメージ(桜井市大神社参道周辺地区)



平成29年4月1日にオープンした天理駅前広場コフィン(天理市天理駅前周辺地区)



Go-Say(ごせ)ラグビーマルシェ(御所市御所中心市街地地区)

近鉄郡山駅周辺地区のまちづくりを進めます。

近鉄郡山駅周辺地区において、大和郡山市と連携して駅前整備及び郡山城跡公園整備の検討を進めます。

関連予算 H30:18百万円(H29:26百万円)

平成30年度の主な取組

- 市町村とのまちづくり連携推進事業の一部(市町村への支援)
 - ・市による駅前広場、公園の基本設計への補助
- まちづくり連携協定関連道路整備事業の一部(県実施)
 - ・近鉄郡山駅周辺の都市計画道路のあり方検討(都)高田矢田線

【郡山城跡公園の整備】



平成28年度に完成した郡山城天守台展望施設

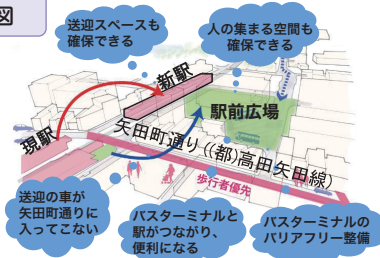


廃止予定の郡山高校城内学舎の活用

【近鉄郡山駅前の整備】

○駅を北側へ移設することによって駅前ロータリーと一体化し、市の玄関口に相応しい駅前空間を創出する。あわせて、矢田町通りの歩行者優先化を進める。

近鉄郡山駅前の整備方針図



近鉄郡山駅前の計画イメージ案(平成30年2月時点)



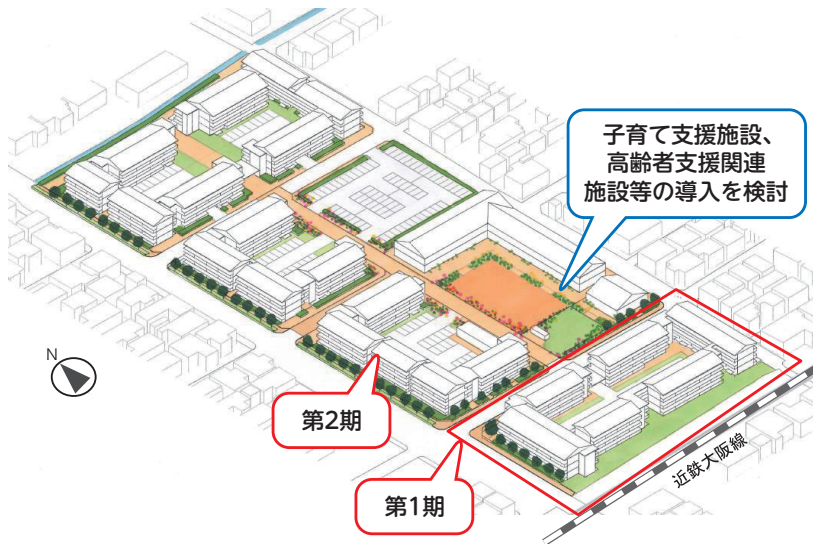
近鉄大福駅周辺地区の拠点整備を進めます。

近鉄大福駅周辺地区において、まちづくり包括協定を踏まえ、桜井市と連携して桜井県営住宅県有地を活用し、県営住宅の建替え及び子育て支援施設等の誘致を進め、多世代居住のまちづくりを推進します。

平成30年度の主な取組

- 近鉄大福駅周辺地区のまちづくり
 - ・第1期事業区域 建築設計、造成工事、文化財発掘調査
 - ・第2期事業区域 地質調査、除却設計

関連予算 H30:134百万円(債務負担行為135百万円)
(H29:148百万円)



医大・周辺のまちづくりを進めます。

奈良県立医科大学の教育・研究部門の充実を図るため、新キャンパスへの移転を進めます。また、現キャンパスでは病院施設を充実させるとともに、地域に適した新たなまちづくりのエリアとして活用していきます。

平成30年度の主な取組

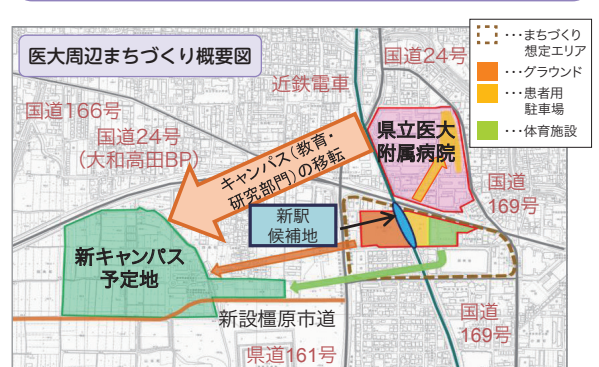
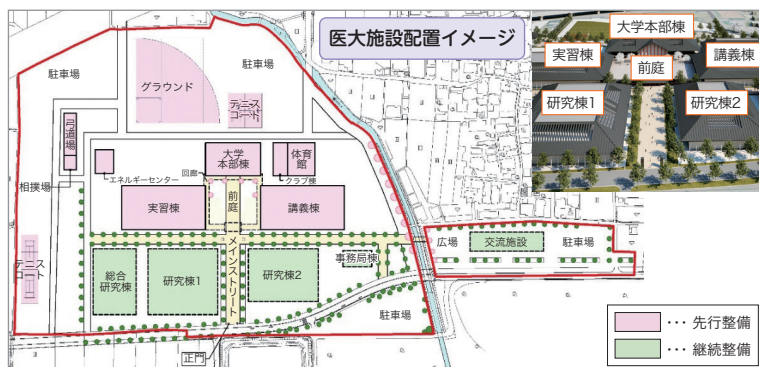
関連予算 H30:692百万円(債務負担行為391百万円)
(H29:708百万円)

医大新キャンパスの移転整備

- 整備コンセプト
 - ・藤原京をモチーフとして、奈良への愛着を醸成し、奈良県立医科大学ならではの医学教育を実践する場にふさわしい姿を具体化
 - ・現在老朽化が著しい教養教育部門及び看護学科の施設を先行して整備
- 平成30年度事業内容
 - ・施設整備基本計画策定、用地買収、土壌汚染対策 等

医大・周辺まちづくり

- 整備コンセプト
 - ・新駅設置と医大隣接の利点を活かした医療の充実した賑わいのある健康長寿のまちづくり(医大との連携を活かした健康増進のまちづくり、新駅の利便性を活かした住宅を中心としたまちづくり)
- 平成30年度事業内容
 - まちづくり検討(基本構想策定)、文化財発掘調査 等



橿原市白地図画像データを加工

橿原市白地図画像データを加工

県域水道の一体化を進めます。

業務の効率化、施設投資の最適化の推進及び水源の適正化を達成するため、県域水道の一体化を進めます。

平成30年度の主な取組

- (新)新しい県域水道ビジョンの策定
- (新)県域水道一体化施設整備基礎調査等

関連予算 H30:40百万円(H29:28百万円)

【これまでの県域水道ファシリティマネジメントの取組】



県営水道からの直結配水を開始(川西町)

磯城郡での水道事業の広域化
3町の浄水施設等更新費の削減(試算)
110億円 → 43億円

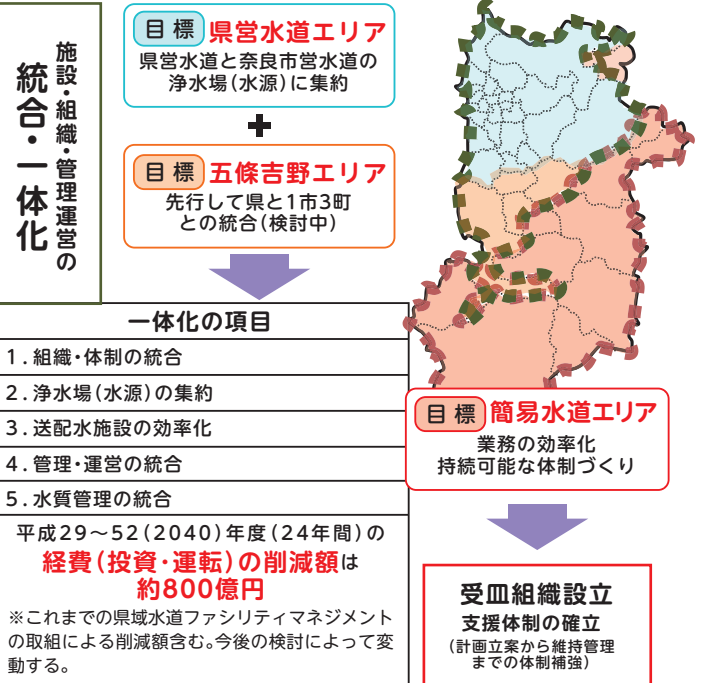


上牧町、王寺町及び河合町における水道施設共同化に関する覚書締結式



簡易水道技術支援の実施

【県域水道一体化の目指す姿(検討の素案)】



ごみ処理の広域化を進めます。

複数市町村が連携して実施するごみ処理施設の整備に対して支援し、ごみ処理の広域化を進めます。

平成30年度の主な取組

- ごみ処理広域化奈良モデルの推進
 - ・やまと広域環境衛生事務組合(やまとクリーンパーク)、さくら広域環境衛生組合、山辺・県北西部広域環境衛生組合への支援

関連予算 H30:595百万円(H29:37百万円)



やまとクリーンパーク(やまと広域環境衛生事務組合)(平成29年6月完成)

【事業内容】

- さくら広域環境衛生組合
 - ・構成市町村: 吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・川上村・東吉野村
 - ・事業概要: 基本設計・調査等に対する支援

施設の統合整備(7施設→1施設)による
焼却施設建設費(市町村実質負担分)の
コスト削減(試算)

約100億円減(約155億円→約48億円)

- 山辺・県北西部広域環境衛生組合
 - ・構成市町村: 大和高田市・天理市・山添村・三郷町・安堵町・川西町・三宅町・上牧町・広陵町・河合町
 - ・事業概要: 基本設計・調査等に対する支援

- やまと広域環境衛生事務組合
 - ・構成市町: 五條市・御所市・田原本町
 - ・事業概要: 施設整備に対する支援

※桜井・宇陀地域ごみ処理広域化推進協議会において広域化の検討に向けた調査を実施中
・構成市村: 桜井市・宇陀市・曾爾村・御杖村